

日卸連発第226号
平成31年2月7日

会員構成員会社社長 様

(一社)日本医薬品卸売業連合会
会長 鈴木 賢
(公 印 省 略)

JGSP GDP国際整合化対応版について

日頃、当連合会の事業にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、「医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会」の最終取りまとめにおいて、「PIC/SのGDPガイドライン全般に準拠した国内向けGDPガイドラインを作成し、厚生労働省がそれを広く知らしめることで、卸売販売業者における自主的な取組を促すべきである。」こととされています。これを受け、厚生労働行政推進調査事業において、「医薬品の適正流通（GDP）ガイドライン」(<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000466215.pdf>)が取りまとめられ、2018年（平成30年）12月28日に当連合会に対し、当連合会会員構成員へ周知するよう依頼がありました。

今般、当連合会では、当該GDPガイドラインを踏まえ、卸連合会の自主基準である現行のJGSPを見直し、別添のとおり、「JGSP（GDP国際整合化対応版）」を作成いたしました。会員構成員が、これを基に業務を実施して頂くことで、国民から信頼される医薬品流通体制の構築に繋げていきたいと思っております。

また、「JGSP（GDP国際整合化対応版）」説明会は、準備が整い次第、順次開催することとしております。